


3カ年経営計画の進捗状況

当社グループは、2018年度を初年度とする3カ年経営計画「HOKKO Growing Plan 2020」をスタートし、最終年度の創業70周年にあたる2020年度に向けて、様々な取り組みを進めています。

3カ年経営計画「HOKKO Growing Plan 2020」(2018~2020事業年度) Challenge to Change —未来を切り拓くため、あらゆる変化に挑戦する—

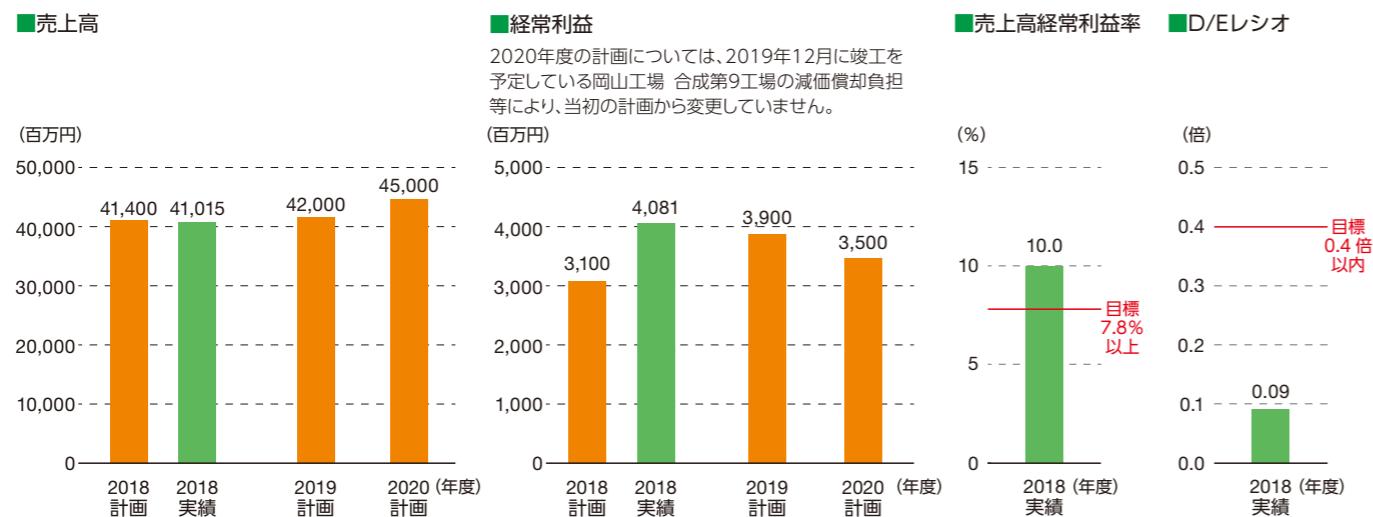
基本方針	2018年度の主な取り組み実績
<p>既存事業の収益基盤強化 『利益』を押し上げる力強いコアビジネス</p> <p>事業構造の転換や業務プロセスの改革・改善を進めることにより、既存事業の収益基盤を強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●岡山工場 合成第9工場(ファインケミカル事業)着工 ●国内農業営業全社員のJGAP*1指導員資格取得を推進 ●品目の高利益率化など売上構造の変革実施
<p>事業分野・領域の拡張 『売上』を生み出す新しいフィールド</p> <p>成長路線を確かなものとするため、アライアンスやM&Aの活用等により、新たな事業の構築や分野・領域への展開を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ファインケミカル事業において、他社との業務提携により、出荷業務の効率化を実現 ●農業事業において、自社原体であるカスガマイシンの海外向け供給体制の再構築
<p>健全な財務体質の維持 成長を支える安定したフレーム</p> <p>将来にわたる持続的な成長を支えるべく、株主還元や成長投資とのバランスを確保しつつ、健全な財務体質を維持する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●4期連続増配 ●売上高経常利益率 10.0% ●D/Eレシオ*3 0.09倍 ●自己資本比率 59.5% ●ROE*4 12.8%

2019年度の主な取り組み

<p>生産体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ●岡山工場 合成第9工場の安定的な立ち上げに向けた厳正なプロジェクト管理 ●造り方改革推進プロジェクトによる利益率向上を目的とした将来の農業製造設備の決定 	<p>岡山工場 合成第9工場について</p> <p>ファインケミカル事業の生産能力拡大のため、2018年7月、岡山工場内に合成第9工場の建設を開始しました。今回建設する工場は、多様なニーズに対応できるように、ステンレスとガラスライニング*6の反応缶や精留塔などを適所に複数設置した受託製造を主とするプラントです。液体充填設備や精留塔などの自動化、制御室からの遠隔操作により、省力で安全な生産を実現します。また、運転データを中央のコンピュータで一元管理することで、安定した製品品質を確保します。</p>  <p>完成予想図</p>
<p>売上高成長トレンドの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ●農業製造受託量の拡大に向けた新規製剤技術の確立 ●医薬分野でのビジネス拡大に向けたGMP*2管理手法の習得 ●業務・資本提携、M&Aの推進 	
<p>リスク管理の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●不測の損失発生を回避すべくシステムを活用した生産管理体制の強化 <p>RPA*5を活用した働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生産・物流、営業部門での展開 	<p>村田長株式会社の株式取得(子会社化)について</p> <p>2019年3月18日をもって村田長株式会社の全株式を取得し、同社を子会社化しました。130年を超える社歴を有する村田長株式会社は、老舗の繊維問屋から繊維資材の専門商社へとビジネスモデルの転換を実現し、現在では原料からの素材開発と独自の付帯加工により、多機能で高機能な商品を開発・提供しています。その商品は自動車や家具、靴、靴、アパレル、ペット、防災、介護などの幅広い分野で活用されています。</p> <p>当社では、同社を子会社化することで、ユーザーニーズや需要動向を踏まえた素材の開発・生産が可能になるだけでなく、同社の持つスキル、ノウハウ、ネットワークなどを当社の生産・製造機能および研究開発機能、並びに子会社北興産業株式会社(防菌防カビ剤およびファインケミカル製品の販売)のマーケティング機能と融合することで、シナジー効果の発揮と新たな付加価値の創造を目指します。</p>

*1 JGAP (Japan Good Agricultural Practice 日本の良い農業のやり方)：農産物の安全確保などを目的とした農業生産工程管理手法の一つ。
 *2 GMP (Good Manufacturing Practice)：医薬品の製造と品質管理に関する国際基準のこと。
 *3 D/Eレシオ (Debt Equity Ratio 負債資本比率)：企業の借金である有利子負債が返済義務のない自己資本(株主資本)の何倍かを示す。数値が低いほど財務内容が安定している。(D/Eレシオ=有利子負債÷自己資本)
 *4 ROE (Return On Equity 自己資本利益率)：会社が自己資本をどれだけ有効に活用して利益を上げているかを示す指標。(ROE=当期純利益÷自己資本×100)
 *5 RPA (Robotic Process Automation)：ホワイトカラーのデスクワーク(主に定型作業)を、人工知能を備えたソフトウェア型のロボットが代行・自動化する概念。
 *6 グラスライニング：酸による反応缶の腐食や固形物の反応缶への付着を防止するため、反応缶の表面をガラスでコーティングすること。

計画と実績



●村田長株式会社の概要

商号	村田長株式会社
代表者	代表取締役社長 下川 信
本社	大阪府大阪市中央区瓦町二丁目3番2号
東京支店	東京都中央区日本橋富沢町10番14号
資本金	1億円
出資比率	当社100%
事業内容	産業用繊維資材、靴・靴用繊維資材、衣料用繊維資材の販売